



# 上小小だより

〒330-0855 さいたま市大宮区上小町 1337-1

HP <http://kamiko-e.saitama-city.ed.jp/> TEL : 048-644-6251

## 教育目標

- ◎ 心豊かな子
- ◎ 進んで学ぶ子
- ◎ 健康な子

## 実 感

校 長 小林 真理子

梅雨の合間には空に白い雲が浮かび、まぶしいほどの夏が訪れています。

毎朝、1階のベランダでは、アサガオの水やりに励む1年生の姿があります。「校長先生、私のアサガオ、花が咲きました」「わあ、きれい。大きな花ですね」一人の子が声を掛けてくれたので応え、「見て、見て、つぼみもありますよ」と別の子の声が続きます。赤紫や水色、ピンクなど色とりどりの花があり、つぼみもあり、よく見るとつるの伸びている株、これから伸びる株などもあります。子ども達一人ひとりの個性や成長のスピードの違いに思いを重ねながら、子どもたちにとっては、この嬉しさが学びの源ではないかと考えたりします。

2年生のベランダでは、実ったミニトマトを覗き込む子どもたちがいます。「トマトが光ってお日様だよ」「緑の宝石みたいでしょ」などと、この時期の子どもならではの言葉が、次から次へと溢れ出てきます。素敵な言葉を使って、大切に育ててきた野菜を紹介してくれます。一所懸命に世話をしているから気付くことがあり、素敵な言葉が出てくるのでしょう。改めて、日々の心を込めた関わりの大切さを感じます。

3階では、児童会による「おりづるキャンペーン」が開催中です。幅広の白いテープに折鶴を並べて留め、廊下の所々のセンターラインにおいて、右側歩行を意識させようという試みです。初めに3階の廊下で5・6年生が試してみたそうです。そしてこの効果を下級生にも広めようということで、朝会の機会を捉えて全校児童に投げかけをしました。児童会の子どもたちが自らアイデアを出して作り、協力して全校に働きかけるキャンペーン。大人顔負けの企画力と行動力には感心するばかりです。将棋界で記録を塗り替え、社会現象にもなっている中学生棋士にも負けない、未来を感じさせてくれる子どもたちの活躍です。

学校での学習に限らず、体験を通して学んだことは子どもたちの頭と体と心にしっかりと刻まれ、逞しくそして豊かに生きていく源となるように思います。

夏休みが近づいてきました。学校ではできない貴重な学びができる時間があります。子どもたちがたくさんの体験を通して、生きている楽しさや喜びを実感することのできる夏となることを期待します。

今月も学校・家庭・地域一体となつての教育にご協力どうぞよろしく願いいたします。



【瞳輝くカミコン】「おりづるキャンペーン」の一コマから

手作りの折鶴で、右側通行を呼び掛けています。鶴を踏むことのないよう、鶴を折ったお友達への思いやりも育っています。